

太良

議会だより

7ページから11ページの
二次元バーコードを
スマートフォンで
読みこんでください。



令和8年度一般会計予算

90億9,534万3千円

もくじ

9月定例会

- 9月定例会 議案審議 2～3P
- 令和7年度決算認定 4P
- 決算及び補正予算 Q&A 5～6P
- 一般質問 7～11P
- 調査報告等 12～13P
- 議会の主な活動 14P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集特別委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<https://www.town.tara.lg.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。



太良町議会の
ホームページ

No.182

令和8(2026)年10月15日発行

初版発行／昭和56年8月1日

【肥前大浦駅 芙蓉 花言葉「繊細な美」】



9月定例会

会期

9月4日～18日 (15日間)



令和8年度 一般会計の補正予算 (第2号) 総額 1億3,442万4千円

補正後予算総額 90億9,534万3千円

歳入	財政調整基金繰入金 (財源調整)	8,485万円
	前年度繰越金 (前年度決算剰余金)	4,723万円
	児童措置費負担金 (国庫支出金)	2,698万円
	児童措置費負担金 (県支出金)	1,075万円
	地方特例交付金	764万円
	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (国庫支出金)	693万円
	国民健康保険特別会計繰入金	329万円
	保育所等給食費支援事業費補助金 (県支出金)	297万円
	林道災害復旧事業費補助金 (県支出金)	180万円
	デジタル活用推進事業債 (町債)	180万円
	後期高齢者医療特別会計繰入金	163万円
	中山間地域等直接支払交付金 (県支出金)	160万円
	林道災害復旧事業債 (町債)	160万円
	複合経営等漁家経営改善支援事業費補助金 (県支出金)	155万円
	普通交付税 (地方交付税)	△6,975万円
歳出	保育所運営委託料 (保育士の待遇改善に伴う公定価格の改定等)	4,080万円
	山林育成基金積立金 (令和7年度間伐材売払収入等を基金へ積立て)	2,009万円
	県営港湾整備交付金事業負担金 (事業量の増加に伴う)	1,350万円
	物価高騰対策行政区運営支援金 (行政区の運営に係る費用を支援)	730万円
	広域農道整備事業 (町道川北線との交差点付近の横断暗渠布設替え)	590万円
	保育所等給食費支援事業費補助金 (子育て世帯の負担軽減)	548万円
	林道災害復旧事業 (大雨による林道多良岳線の復旧工事)	398万円
	大橋記念図書館空調設備整備事業 (新規に空調機器の設置)	327万円
	ウェザーステーションサーバー更新業務委託料 (機器の更新)	274万円
	複合経営等漁家経営改善支援事業費補助金 (カキ養殖用購入資材購入の支援)	258万円
	中山間地域等直接支払交付金 (スマート農業加算や協定農用地の面積増)	213万円
	火葬場法面復旧事業 (大雨による復旧工事)	165万円
	後期高齢者医療特別会計繰出金 (人間ドック等検査助成金に係る繰出金)	150万円

※金額について万円未満を切り捨てています。

9月定例会審議結果

9月定例会は、報告1件、条例議案3件、諮問3件、決算認定7件及び補正予算4件の計18件が町長より、また、意見書1件が議会より提案されました。審議結果は次のとおりです。

全会一致の議案等

議案番号	件名と主な内容（件名及び内容は一部省略しています）	議決結果
報 告 第2号	令和7年度太良町財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告（全会計とも健全）	—
第48号	太良町印鑑条例の一部を改正する条例の制定 出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴い、特定在留カード等による印鑑登録証明書の交付ができるようにするため。	可決
第49号	太良町議会議員及び太良町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定 公職選挙法施行令の一部改正により、太良町議会議員及び太良町長の選挙における選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスター作成の公営に要する経費に係る限度額を引き上げるため。	可決
第50号	太良町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正により、職員の部分休業制度を拡充するため。	可決
第51号	令和7年度太良町一般会計歳入歳出決算の認定 一般会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認定
第52号	令和7年度太良町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認定
第53号	令和7年度太良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの。	認定
第54号	令和7年度太良町漁業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定 漁業集落排水事業会計の剰余金処分及び決算を可決及び認定に付するもの。	可決 認定
第55号	令和7年度太良町簡易水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 簡易水道事業会計の剰余金処分及び決算を可決及び認定に付するもの。	可決 認定
第56号	令和7年度太良町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 水道事業会計の剰余金処分及び決算を可決及び認定に付するもの。	可決 認定
第57号	令和7年度町立太良病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定 病院事業会計の剰余金処分及び決算を可決及び認定に付するもの。	可決 認定
第58号	令和8年度太良町一般会計補正予算（第2号） 物価高騰対策行政区運営支援金等1億3,442万4千円を増額補正し、補正後の予算総額90億9,534万3千円とするもの。	可決
第59号	令和8年度太良町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 人間ドック等検査費助成金等357万2千円を増額補正し、補正後の予算総額2億1,657万2千円とするもの。	可決
第60号	令和8年度太良町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 人間ドック等検査費助成金等6,673万3千円を増額補正し、補正後の予算総額14億6,173万3千円とするもの。	可決
第61号	令和8年度太良町簡易水道事業会計補正予算（第2号） 職員給与と費等の補正	可決
諮 問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦 菅原素春さんを人権擁護委員として法務大臣に推薦すること。	同意

全会一致の議案等		
議案番号	件名と主な内容（件名及び内容は一部省略しています）	議決結果
諮 問 第2号	人権擁護委員候補者の推薦 安西修さんを人権擁護委員として法務大臣に推薦すること。	同意
諮 問 第3号	人権擁護委員候補者の推薦 岡山千晶さんを人権擁護委員として法務大臣に推薦すること。	同意
意見書 第1号	地方財政の充実・強化に関する意見書 陳情の趣旨に沿い、国に意見書を提出するもの。 提出先：内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画、共生・共助）、衆議院議長、参議院議長	可決

令和7年度決算を認定！

令和7年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出決算認定について、9月11日、15日及び16日の3日間にわたり各項目ごとに、慎重な審査を行いました。歳入歳出ともに適正な執行状況を確認しました。また、各会計とも黒字決算であることを確認しました。

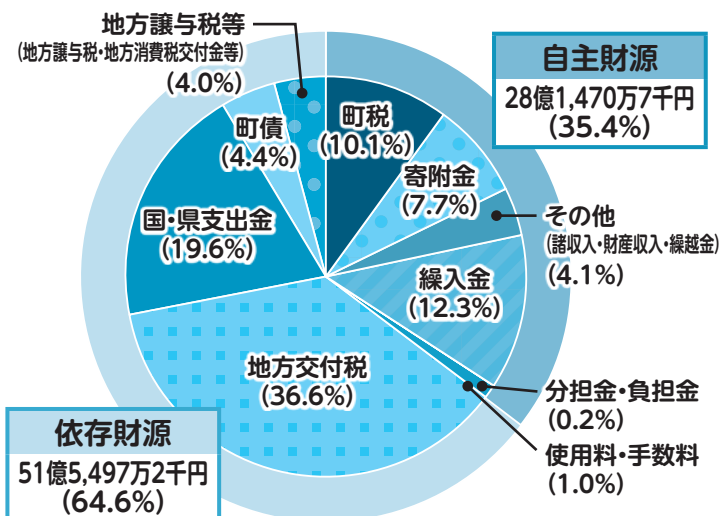
一般会計歳入歳出差引額 1億9,971万8千円は、次年度へ繰越（繰越の一部8,000万円は財政調整基金へ積立）

令和7年度各会計歳入歳出決算額

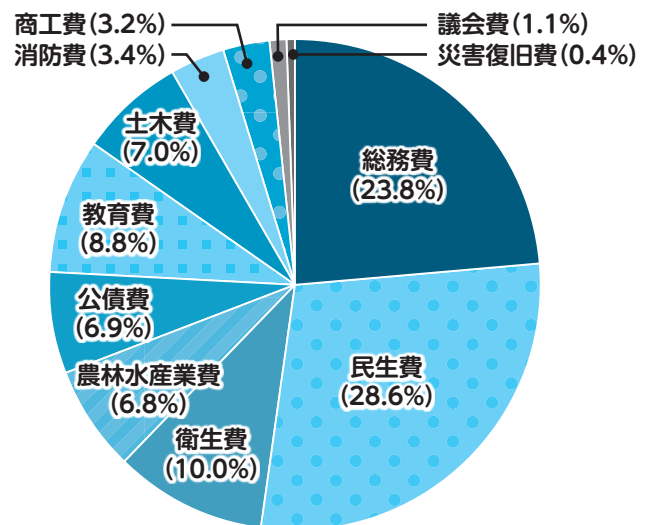
種 別	決 算 額	
	収 入	支 出
一 般 会 計	79億6,967万9千円	77億6,996万1千円
特別会計	後期高齢者医療	1億7,274万7千円
	国民健康保険	14億2,426万9千円
漁業集落排水事業会計	収益	5,122万7千円
	資本	2,490万6千円
簡易水道事業会計	収益	1億348万4千円
	資本	3,901万8千円
水道事業会計	収益	5,447万4千円
	資本	0円
町立太良病院事業会計	収益	12億8,496万1千円
	資本	6,990万8千円
		1億581万7千円

※千円以下は、四捨五入

歳入 79億6,967万9千円



歳出 77億6,996万1千円



※予算は、1年間（4月～翌年3月）の収入と支出の見積もり。決算は、その1年間の実際の結果です。

議会は、お金が適正に、効果的に使われたかを審査します。

※財政調整基金：町の貯金。収入が減った年や急な支出に備えて積み立てます。

決算審査特別委員会



① ふるさと納税 予算の10億円は見直しへ

Q 昨年から、寄附の募集業務を民間事業者に委託した。成果は。

A 昨年11月から今年8月までの寄附は約4億2,000万円で、委託前より3%減った。今年度は最低でも7億円を目指し、天候に左右されない加工品などを研究する。毎年10億円を見込んできた予算は、来年度以降見直す。

② 地域公共交通の今後

Q 中学校の統合で、通学の足も必要になる。地域公共交通を今後どう考えるか。

A 財政負担は増えているが、人口減少の中では、福祉・医療・教育と同じように、ある程度費用をかけなければならない分野だと考えている。

③ 障害福祉サービス 利用が増加

Q 障害福祉サービス(自立支援給付)の利用者が97人に増え、金額も約9.5%増えた。理由は。

A 利用者が年々増えていることに加え、ホームヘルプ(居宅介護)や、就職に向けた訓練(就労移行支援)の利用が増えたため。

④ 保育士の確保

Q 町内の保育施設からは、若い保育士に来てほしいが、町外から通うには遠く、引っ越すにも給料が高くないため来てもらえないとの声がある。引っ越し費用の助成などを考えないか。

A すぐにはとはいかないが、他の地域の状況を調べ、介護・福祉・保育の人材確保を含めて検討したい。給与の水準も、施設と話して調べる必要がある。

⑤ 生ごみ処理機の購入補助

Q 補助の対象は町内で買ったものに限られるが、電動の処理機(5万～10万円程度)は町内ではほとんど売られていない。対象を広げてはどうか。

A 地元での購入が一番だが、電動の処理機は生ごみを減らせるので、担当と協議して検討する。

⑥ J-クレジット 町有林のCO₂吸収量を販売へ

Q 町有林が吸収したCO₂を企業に売るJ-クレジット。販売の見込みは。

A 1,496トン分を販売できる。相場は1トン5,000円程度で、鹿島市と共同で企業に売り込んでいる。

⑦ 消防団の定数 段階的に削減の方向

Q 定数500名に対し、実際に動ける団員は少ない。定数を減らすべきではないか。

A 消防団の幹部の間でも削減の話が出ており、段階的に減らす方向で進むと考えている。

⑧ 町道の草刈り

Q 毎年要望が出る危険な区間は分かっているはず。そこを集中的に刈ってはどうか。

A 地区で対応できない7路線約11kmは、町が年1回、のり面の伐採や路肩の清掃をしている。途中で落石などの連絡があれば、建設業協会に重機で対応してもらっている。

⑨ 借金返済の負担 6.8%に上昇

Q 借金返済の重さを示す実質公債費比率が、平成28年度の3.9%から6.8%に上がった。今後の見通しは。

A 学校の再編統合など、今後の大型事業次第で変わる。比率が上がると、自由に使える財源が減り、財政が硬直化する。

令和8年
9月定例会

補正予算



① 人間ドック・脳ドックの助成

Q 新しく始める助成の内容は。

A 10月1日以降の受診を対象に、検査費用の7割を助成する。上限は人間ドック3万円、脳ドック2万5千円。町報10月号でお知らせし、先着順で受け付ける。

② 行政区への運営支援金

Q 行政区への支援金の目的は。

A 集会施設や防犯灯の電気料金等の値上がり分を世帯に負担させないように、全55行政区に交付する。区費を上げないように努めてもらう。

③ 大橋記念図書館の空調

Q 2階が暑いが対策は考えているのか。

A 空調機器を新たに設置する。発注から工事完了まで約4か月かかる。

④ ごみ袋の製作費

Q 年間の製作枚数と、値段への影響は。

A 令和8年度は年間40万6千枚を作る計画。今は製作費が販売価格を下回っており、上回れば価格の見直しが必要になる。

⑤ 漁業者への支援

Q カキの新しい養殖(三倍体)への補助だが、今後もほかの取り組みに補助を出せるか。

A 漁協を通じて要望が上がれば、補助に合うかを町で精査して対応する。

⑥ ラジコン草刈機

Q 中山間地域の農地を守る交付金が増えた。内容は。

A スマート農業の加算で、伊福地区がラジコン草刈機を1台導入する。

読者の声

前号の議会だよりについて、たくさんのご意見をいただきました。紙面の都合上、一部を抜粋してご紹介します。

1

子育て支援が充実している分、保育施設や学童は人手不足。議員に1日体験で現場を知ってほしいという声

2

フリーWi-Fiの設置など図書館をさらに充実させ、入りやすく幅広い世代に開かれた場にしてほしいという声

3

子ども議会の開催を望む声

4

買い物に困っている人への具体的な対策や、高齢者のごみ出しを地域のつながりで支えてほしいという声

5

免許返納後に備え、小型でもよいのでコミュニティバスを増便してほしいという要望

いただいたお声は、今後の議会活動の参考にしてまいります。ご意見は議会事務局までお寄せください。

在宅介護の担い手を どう確保するのか

山口 一生 議員

1分動画へ
GO▼



答 担い手確保を次期計画の
重要課題に

一 般 質 問

高齢者の在宅支援と
見守りの体制について

議員 訪問介護の事業所と従事者の状況、人手不足で受けられなかった依頼は。

町長 杵藤管内の指定訪問介護事業所は27カ所。町内に拠点を置く1事業所は50歳代・60歳代の2名体制で、人手不足で受け入れが難しい場合もある。

議員 この体制を今後も続けられるのか。

町民福祉課長 鹿島・嬉野などの事業所からもサービスが入っている。町内事業所の職員が続けて勤められるかは把握できておらず、課題の一つと認識している。

議員 ヘルパーを目指す人への支援は。

町民福祉課長 資格取得への助成は行っていない。介護職員の就労支援として最大20万円を補助しており、令和6・7年度は年15人程度が利用、一部は外国人の方である。

議員 要介護認定者数と、家族介護への支援は。

町民福祉課長 要支援・要介護は612名（令和8年6月30日現在）。月15日以上在宅で介護する家族に月4万円を助成している。

議員 支援が必要な人に、町の側から気づく仕組みは。

町民福祉課長 地域包括支援センター（6名）や民生児童委員（29名）などと連携し、令和7年度の相談は775件。杵藤のニーズ調査では、介護が必要でも受けていない人が圏域内で相対的に多いと分かった。早い段階からの積極的な働きかけが必要と考えている。

生活支援の担い手確保と
次期高齢者福祉計画について

議員 総合計画が掲げる「福祉の総合相談窓口」と、住民主体の支援活動者の現状は。

町長 総合窓口は未設置だが、福祉係と地域包括支援センターに社会福祉士を配置している。サポーター研修を受け

た35名が補助員として、5名が支援員として活動している。

議員 暮らしの困りごとを一カ所で受け止め、担い手になく入口にする考えは。

町長 次期高齢者福祉計画の検討にあわせて整備していく。

議員 ご縁クラブでは「5円では申し訳ない」との声もある。住民が短時間から有償で支援を担える仕組みは。

町長 福祉分野でもスポットワーク的な取り組みを今後検討する。

議員 次期計画（令和9年度から）と予算への反映は。

町長 在宅支援の提供体制、人材確保、相談体制、住民の支え合いを重要課題に位置づけ、令和9年度当初予算の編成と人員体制の検討に反映していく。

議員 太良町は、困ったときに助けを求めやすい町か。

町長 介護の問題は行政だけでは解決できない。地域全体

で支える仕組みづくりが必要で、専門職とも協議しながら検討したい。困っている人がいれば、民生委員や区長などに相談してもらい、役場につないでほしい。

議員 以前から議会で議論されてきた、高齢者の集合住宅についての考えは。

町長 高齢化率が高いのは、元気で長生きの方が多いということでもある。安心して暮らせるまちは町だけではつれない。議員の皆さんも含め、みなで高齢者の見守り方を考えてほしい。今ここで具体的な案は持っていない。

議員 困ったら「助けてくしゃい」と気軽に言える町に、一緒にしていきたい。



高齢者にやさしいゴミ減量化とは

待永 るい子 議員

1分動画へ
GO▼

答 電動生ゴミ処理機等の活用を



一
般
質
問

議員 ゴミのリサイクルの意義をどう考えるか。

環境水道課長 町のゴミ処理を将来にわたり持続可能とする重要な手段。

議員 ゴミ収集に関する予算はどれくらいか。

環境水道課長 8年度の予算で約2億4千万円を計上している。

議員 焼却の為に西部環境施設の組合負担金はどれくらいか。

環境水道課長 7年度の負担金は1億137万千円。

議員 ゴミに関する予算は全て一般財源なのか。

環境水道課長 国・県の補助はなく、全て町からの一般財源である。

議員 ゴミの量は季節によって変化するのか。

環境水道課長 夏はペットボトルが増えている。

議員 現在月に1回のビン・リールの収集を2回に増やす事は可能か。

環境水道課長 限られた収集車両台数と人員を考えると困難な状況である。

議員 ゴミ分別やリサイクル広報の具体策は。

環境水道課長 小学生を対象に環境学習を推進。

議員 外国の人への環境学習も必要ではないか。

環境水道課長 自国語での変換が可能なのでホームページを利用活用してもらいたい。

議員 高齢者や女性にとって電動生ゴミ処理機が便利だと考えるが、価格が高いので補助金の増額は考えられないのか。

議員 高齢者や女性にとつては電動生ゴミ処理機が便利だと考えるが、価格が高いので補助金の増額は考えられないのか。

町長 ゴミ収集に予算がかかるので住民さんで工夫してほしい。

議員 通販などでは手頃な価格での購入が可能なので、町内の店舗が話し合って、サイ

トを利用した形での補助金活用は可能なのか。

環境水道課長 町内の販売店で購入すれば補助対象になる。

がん等の早期発見を

議員 肝がんは佐賀県で死亡率が高いが、町での肝がんの取り組みは。

健康増進課長 肝がん予防として肝炎ウイルス検査を実施している。

議員 肝がんの原因はウイルスから現在は脂肪肝へと変わり、生活習慣を改めると治療効果が上昇すると言われているが。

健康増進課長 生活習慣の改善が予防の要と認識。

議員 受診率の低い課題、受診の時間がない方への対策として、がん検査キット等の活用はどうか。

健康増進課長 科学的根拠が確立され、国が推奨すれば検討したい。

議員 痛み等の不安を取り除く為、乳がんや胃がんの検査を他の方法での検査に変更できないのか。

健康増進課長 国の指針で死亡率減少効果が確認された方法を採用しているので継続していきたい。

議員 AIを使った勧奨ハガキの予算と効果は。

健康増進課長 予算は400万円、効果は徐々に向上していると思われる。

議員 健康は自分自身の事なので、意識を持って受診して頂きたいが、行政も受診率を高める為の施策努力が必要では。

健康増進課長 意識高揚の様々な広報活動等を行なっている状況。

議員 早期発見の事例紹介などは行っているか。

健康増進課長 個人情報保護の範囲内で町報たら等で継続して検診の重要性を発信したい。

一般質問

本町で捕獲イノシシ豚熱に感染、拡散防止対策は

竹下 泰信 議員

1分動画へGO▼



答 経口ワクチンの散布、飼養管理の更なる周知徹底を実施



議員 県は太良町において捕獲された野生イノシシ3頭が豚熱(CSF)に感染していたことを8月5日と12日に公表した。

本町での感染確認は初めてで、3頭はいずれも成獣。豚熱は聞き慣れない病名で、どのような家畜の疾病か、説明をお願いする。

農林水産課長 豚熱とは、豚やイノシシが感染するウイルス性家畜伝染病で、かつては豚コレラと呼ばれ、豚飼養農家から恐れられている疾病。病因は豚熱ウイルスで、感染すると高熱、下痢、出血などの症状で、強い感染力と高い致死率の疾病で、治療法はないと言われている。人には感染せず、感染した豚の肉を食べても人体に影響はない。

議員 本町の直近の養豚農家数と飼養頭数はどうなっているか。

町長 養豚農家数は6戸、飼養頭数は約1万7千頭で、佐賀県に占める本町の割合は養豚農家が23%、飼養頭数は25%を占めている。

議員 県内及び町内の野生イノシシに対する感染確認検査はどうなっているか。

町長 昨年度の豚熱検査頭数は県全体で555頭うち陽性頭数は74頭。今年度8月20日現在の検査頭数は233頭、うち陽性頭数は32頭。陽性率はそれぞれ13%、14%となっている。

本町の昨年度の検査頭数は27頭で、全頭陰性。今年度8月20日現在の検査頭数は28頭で、陽性頭数は3頭となっている。

議員 豚熱感染確認検査は、どのような基準で行うのか。

農林水産課長 令和6年に県内捕獲のイノシシから豚熱感染が確認され、以後拡大している。本町は養豚農場が多い町としてカウントされ、令和7年度に30頭であった検査頭数は、8年度には57頭となり、これに基づき検査している。

議員 養豚農家や有害鳥獣捕獲従事者、町民への豚熱周知はどうしているのか。

町長 養豚農家へは町及び県

から飼養管理の更なる徹底とウイルス拡散防止の確認を、捕獲従事者には、直ちに文書で注意喚起、拡散防止対策の徹底を、町民へはホームページによる情報提供を行っている。

議員 豚熱経口ワクチンの散布地域や場所の決定はどうしているのか。

農林水産課長 県が主体となり、市町や猟友会等と協議し、養豚農場周辺や県境等を重点ポイントとして決定。本町は23カ所を主な散布力所としている。

議員 感染イノシシが発見された地点から、半径10km圏内を感染確認区域としている。この区域では移動制限など規制があるのか。

農林水産課長 捕獲時の靴や衣類、車両等の消毒、捕獲イノシシの持出し禁止、ジビエとして譲渡など自粛対象とされている。

議員 豚熱が発生した場合の経営支援対策はどうなっているのか。本町独自の支援策は

どうか。

農林水産課長 家畜伝染病予防法に基づき、家畜の評価に応じて手当金が交付。

また、家畜の再導入や衛生対策等に支援事業が講じられ県では、再開支援に関する各種支援が実施される。本町では国、県の支援制度の最大活用を速やかに取り組む。

議員 豚熱の防衛対策は、発生の予防、早期発見及び通報、的確な初動防衛とされている。本町から家畜の伝染性疾病が発生しないよう、予防策の徹底に努めていただきたい。



一般質問



障がい児及び発達に特性のある児童への支援の現状は

大鋸 美里 議員

1分動画へGO▼



答 専門職確保の課題があるが地域全体で支えていく

議員 障がい児通所支援の利用者は、この5年間でどう変化したか。

町長 令和3年度の11人から令和7年度は31人に増えた。

議員 発達障害者支援法施行後からこの20年ほどで、子どもの特性を見つけ、相談し、支援につなぐ社会の仕組みも大きく変わった。町内利用者が増えた背景は何か。

町民福祉課長 発達特性への理解が広がり、早期に相談や支援につながるようになったことなど、複数の要因がある。

議員 子どもたちは、どのような困りごとをきっかけに支援につながっているか。

町民福祉課長 園や学校、病院から療育を勧められ、相談に来ることが多い。言葉やコミュニケーション、集団生活、気持ちの切り替え、生活リズム、読み書き、友人関係など、困りごととは多岐にわたる。

議員 支援を必要とする子どもに十分対応できているか。

町民福祉課長 事業所では児童指導員、保育士、送迎に従事できる職員、専門性のある職員の確保が課題となっている。

子育て支援課長 保育士の確保に苦労している。町は、支援を必要とする子どもを受け入れる園に独自の補助を行っており、令和7年度は約405万円交付した。

学校教育課長 学校には特別支援教育支援員を小学校に9人、中学校に4人配置している。支援の必要性が増え、多様化しており、十分と言い切れる状況ではない。

議員 治療薬の成分メチルフェニデートなどは、覚醒剤と同じものではないが、いずれも脳の中枢神経に作用する刺激薬として「麻薬及び向精神薬取締法」に基づく第一種向精神薬として管理されている。医療機関の受診や薬物療法の状況を町は把握しているか。薬に関する情報を支援者が学び、共有する機会はあるか。

町民福祉課長 町の手続きに関わった範囲で受診歴などを把握しているが、受診者数や薬

物療法を受ける子どもの全体数は把握していない。医療情報は保護者の同意を前提に必要な範囲で共有している。町として体系的な研修は常設できておらず、今後、学習機会の確保に努める。

議員 家庭、学校、事業所などが支援方針を共有する個別支援会議は、どのように開かれているか。

町民福祉課長 役割分担や情報整理が必要な場合、卒園・卒業など支援者が変わる時期にも開いている。開催実績は令和6年度2回、令和7年度3回。

議員 災害時、感覚過敏などがある子どものために静かな場所を確保できるか。

町民福祉課長 避難所の状況によつて個別スペースの確保には制約がある。備蓄が十分か引き続き検証する。

議員 町外の特別支援学校への通学に伴う保護者の送迎負担を軽減できないか。

町民福祉課長 小学部6人、中

学部1人が通学している。町は就学費補助金を交付しており、スクールバスなどについても県や学校等と情報を共有し、改善の余地を検討する。

議員 診断の有無にかかわらず、子どもが安心して育つために、町全体でどう取り組むか。

町民福祉課長 早い段階から相談できるようにし、保健・福祉・教育・医療が連携して切れ目なく支援する。

教育長 文部科学省の調査では、通常の学級で学習や生活に著しい困りごとのある児童・生徒は8・8%で、太良町も同様の傾向と捉えている。早い段階から生活習慣や教育環境を整えるため、町は「太良町総がかり教育協議会」を設けた。園児から高校生までが生活習慣を見つめる「生活習慣100点運動」などを通じて、家庭・園・学校・地域と一緒に子どもの成長を支えていく。



一般質問

町で伐採重機の貸し出しは考えていないか

峰 正雄 議員

1分動画へ
GO▼

答 貸し出しは難しいと考えている



議員 雑木伐採の要望に対する進捗はどうか。

町長 隣接地から町道へ張り出した雑木伐採要望は例年10件程度で年間900万円を予算化し危険性や緊急性通行への支障の程度を踏まえ優先順位をつけ対応している。

議員 未対応があるが900万の予算で足りているのか。

建設課長 全ての要望を一度に解決するのは当然困難であり現地測量設計発注等に係る業務を職員が対応して執行可能額として妥当な規模であると考えている。

議員 予算を増額して要望を一年で解消する考えはないか。

町長 担当課とも十分協議をし予算面について協議をしていきたいと思う。

議員 優先順位をつけ順次対応しているところがあるが誰が判断して決めているのか。

建設課長 担当職員が要望提出後及び業務委託発注前に現地調査を行い、安全性や緊急性、

影響範囲などを勘案し総合的に判断して決定している。

議員 町で伐採重機の貸し出しは出来ないか。

町長 特殊な機械で一定の技術、資格、経験が必要で事故発生時の安全管理、保険、使用者責任の整理など課題があり貸し出しは難しいと考えている。

議員 本町には重機はないのか。

総務課長 現在B&G財団との防災協定に基づき補助を受けて配備した油圧ショベル2台を保有している。

議員 重機のほかに装備された機械、機材があるのか。

総務課長 アタッチメント機能としてバケット2台、ハサミ、スライドダンプ2台、水上バイク1艇、電気自動車普通自動車1台、軽ワゴン車2台、それに必要な外部給電器3台を配備している。

議員 町は重機をどういった時に使う計画なのか。

総務課長 災害発生時の緊急対応及び避難所運営に必要な重機や機材の配備を行なっている。

議員 重機に草刈りのアタッチメントを購入する考えはないか。

町長 今のところは草刈り機まで買ってやることは考えていない。

議員 太良町消防団又職員の皆さんが免許を取られた方は今現在何名おられるのか。

総務課長 令和7年、8年で約58名の方が講習会に参加している。

議員 農道伐採を業者に依頼した場合予算面で支援はあるのか。

町長 現時点では町として直接的な予算支援制度は設けてないが小規模の農道についての対応は現在考えている。

議員 農道、里道は受益者が管理をしているが近年高齢化で荒廃園が増えている。利用する人が伐採をするのか。

町長 小規模な農道、数名の方が農道として利用されていて大木等が出て通りにくいとあれば町では現在重機借り上げも出している。相談をまず、建設課、担当課の方をお願いしたい。

議員 今年はこの暑さで草刈りできなかったと思う。先々は重機を念頭に入れていただきたい。

建設課長 地域の高齢化等により維持管理が困難になっている実情は十分認識し、これまで同様事前に現地調査し、施工に当たり重機の使用が必要と判断される箇所については重機借り上げ等により対応する。



総務常任委員会 開館40周年 図書館のこれからを考える

と き 令和8年7月31日

場 所 大橋記念図書館

テーマ 大橋記念図書館の活動と
更なる利活用について

総務常任委員会では、7月31日に大橋記念図書館で運営状況や施設の課題について説明を受け、意見交換を行いました。

◆図書館の現状と課題

大橋記念図書館は、太良町出身の大橋リュフ医学博士から寄附された1億円を基に昭和61年に開館し、今年で40周年を迎えました。貸出冊数は1万4,434冊で、令和元年から3,003冊減っています。利用者は60歳以上と未就学児が多く、中・高生や働く世代の来館が少ないのが課題です。保育施設への移動図書館、学童保育での読み聞かせ、学校の調べ学習への図書の提供、グループホームへの団体貸出、ボランティアとのおはなし会などに取り組んでいます。一方で、夏場は2階の空調が効きにくく、早急な改善が必要です。

◆委員会の所見・まとめ

これからの図書館は、利用者数や貸出冊数だけでなく、地域の中でどのような役割を果たしているかという視点が大切です。誰もが立ち寄れる居場所、学びと交流の拠点、太良町の文化や歴史を学べる場として生かすことが求められます。開館40周年を新たな出発点に、多くの町民が集い学ぶ図書館となることが、大橋博士の思いに応えることになると思います。



大橋記念図書館

経済建設常任委員会 空き家を地域の資源に 竹田市・菊池市を視察

と き 令和8年8月3日～4日

場 所 大分県竹田市・熊本県菊池市

テーマ 空き家を活用した地域経済の活性化と、
特色ある道の駅

経済建設常任委員会では、8月3日に大分県竹田市で空き家を生かした地域経済の活性化を、8月4日に熊本県菊池市の道の駅「七城メロンドーム」で、検討中の漁師の館跡地の利用の参考となる取り組みを視察しました。

◆竹田市の空き家対策

竹田市は人口約1万8,000人、高齢化率49.5%で、市内の空き家は約3,000棟にのぼります。令和6年からは通常の空き家バンクに加えて「空き家再生バンク」を始め、貸せない・売れない・壊せない古い物件も対象にし、店舗や宿泊施設などへの改修を認めています。移住定住支援センターの専門スタッフが、住まい・仕事・子育てなどの相談をワンストップで受け、継続して支えています。

◆道の駅「七城メロンドーム」

数日後に完熟するメロンもそろえ、お盆にお供えた後に家族で味わえるようにするなど、買う側の立場に立ったサービスが印象的でした。

◆委員会の所見・まとめ

竹田市は、売れない・貸せない物件の受け皿を制度として設け、それを専門スタッフが動かす体制をつくり、空き家・移住・創業・雇用を一連の流れとして組み立てていました。太良町でも、関係部署が連携した総合的な支援体制が必要ではないでしょうか。道の駅の工夫も、漁師の館跡地の検討にぜひ生かしていただきたいと思います。



大分県竹田市政府



竹田市議会 議場見学



アルツハイマー月間 オレンジのリングを装着して啓発活動

知事・市町議会議長懇話会

と き 令和8年7月22日

場 所 ホテルマリターレ創世佐賀

知事に有明海の干潟再生を要望しました。

令和8年7月22日、県内の市町議会の議長が山口祥義知事と意見を交わす「知事・市町議会議長懇話会」が開かれ、江口孝二議長が出席しました。太良町議会からは、海中鳥居周辺の干潟の再生を提案しました。

◆提案（太良町議会）

漁業者の高齢化と後継者不足が深刻化しています。令和7年漁期の海苔養殖は一定程度持ち直したものの、漁船漁業は不漁が続き、事業の継続が難しい状況です。町の沿岸に広がる干潟は、多くの魚介類が産卵し育つ大切な場ですが、浮泥の堆積などにより、その機能が低下している場所が見られます。

そこで、有明海の水産資源の早期回復に向けたこれまでの取り組みを継続・強化していただくようお願いするとともに、アサリの優良な漁場である海中鳥居付近の干潟について、本格的な再生への取り組みを要望しました。

◆回答（佐賀県）

太良町の主な漁獲物であるタイラギが休漁となり、アサリの生産も安定しないなど、有明海の二枚貝をめぐる環境は厳しい状況で

す。県は、稚貝の放流や母貝団地の造成、海底耕うんなどの干潟の環境整備に取り組んできました。海中鳥居のある多良川河口周辺の干潟はアサリの好漁場で、今年度の生息状況はここ数年の中でも良好です。資源をさらに増やすため、今後も干潟の環境整備を続けていく必要があります。また、海中鳥居は、有明海の干満差が生む神秘的な景観と地域の歴史が一体となった、県にとっても未来に残すべき地域の宝です。今後の干潟の整備では、海中鳥居の景観など観光面にも十分配慮しながら、県から町へ必要な支援を行い、県・町・漁協が連携して取り組みを進めていきたいと考えています。



議会の主な活動

7月
9月

9月					
25	18	15	14	11	9
▽	▽	▽	▽	▽	▽
広報編集特別委員会	議案審議	決算審査特別委員会	議案勉強会	決算審査特別委員会	議案勉強会
					一般質問
					議会全員協議会
					9月定例会招集

8月					
31	28	26	19	19	18
▽	▽	▽	▽	▽	▽
杵藤地区広域市町村圏組合議会8月定例会	議会運営委員会	鹿島・藤津地区衛生施設組合8月定例会	杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会	議会全員協議会	佐賀県町村議会議員研修会
					太良町消防団夏季点検
					長崎本線利用促進期成会要望活動
					経済建設常任委員会行政視察

7月					
31	22	15	14	14	13
▽	▽	▽	▽	▽	▽
総務常任委員会所管事務調査	知事・市町議会議長懇話会	大橋記念図書館開館40周年記念イベント	議会全員協議会	中山キャンプ場山開き式	国道207号改良促進期成同盟会総会・有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会総会
					杵藤地区広域市町村圏組合議会7月臨時会
					広報編集特別委員会
					白浜海水浴場海開き式

次回の議会のお知らせ(予定) 是非、いつでも傍聴においでください。

開会日 令和8年12月4日(金) 一般質問 8日・9日

議案審議 11日

令和8年9月議会の傍聴者数(延べ人数)



今回
20人

前回に比べて
-6人



議会の全日程で傍聴が可能です。お気軽にお越しください。

議会クイズ!!

お買物券が当たる!

Q

太良町の指定ごみ袋は、1年間に何枚作られているのでしょうか?
(ヒントは6ページにあります。)

A

① 約4万枚 ② 約40万枚 ③ 約400万枚

解った方は、**ハガキ**または**Webフォーム**より応募下さい。

※締め切り/11月16日(月)当日消印有効 ※対象は太良町民に限ります。
※当選者の発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。

ハガキ

ハガキに答えを明記し、住所・氏名・電話番号・議会への意見または要望を必ずご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698

太良町大字多良1-6

太良町議会事務局「議会クイズ係」宛

webフォーム



ショートURL

<https://logoform.jp/form/TyPb/1829724>

みなさん議会に対する意見などをどんどんお寄せ下さい。

編集委員会

委員長	山口 一生
副委員長	待永 隼子
委員	峰 正雄
森田 政則	大鋸 美里

今年の夏は暑かった。30℃を超える日が約60日も続き、8月3日には県内で40℃を超える酷暑日もあった。夕立もなかなかこなかった。9月4日によつと恵みの雨が降り農家の皆さんも胸を撫で下ろされたであろう。
長い夏が終わり、朝晩は涼しい秋がやってきた。暑さ寒さも彼岸まで。まさにその通りである。
実りの秋、収穫の季節に入る。太良町では稲刈り、ミカンの収穫、有明海では海苔、牡蠣の繁忙期が始まり、生活の糧となる所得が向上して欲しいと願うばかりである。
9月議会では令和7年度の収支をチェックする決算審査特別委員会が開催された。中東情勢の影響で物価高、人件費、委託料の増加が続く。「入るを量りて出するを制す」という先人の言葉のとおり、収支の均衡がとれた財政運営を求めている。

編集室より